

運動・動作解析学演習

[演習] 第1・2学年 前期 選択 2単位

《担当者名》○小島 悟 skojima@hoku-iryo-u.ac.jp、桜庭 聡

【概要】

運動・動作解析学特論で習得した知識と技術をもとに、リハビリテーション科学領域における身体運動・動作解析関連の論文抄読や、種々の計測機器を用いた実験を行う。

【学修目標】

機器を用いた運動・動作解析をリハビリテーション領域の臨床ならびに研究場面で応用するために、実験を通して必要な知識と技術の理解を深め、運動・動作を捉えるための計測・解析手法を身につける。

1. リハビリテーション科学領域における身体運動・動作解析関連論文の内容を解釈できる。
2. リハビリテーション科学領域の対象課題を解決するために必要な計測・解析手法を選択し、実施できる。
3. 計測および解析データを解釈できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1～5	論文抄読	身体運動・動作解析関連の論文抄読を行いながら、実験計画をたてる。	小島 悟 桜庭 聡
6～10	実験	実験計画に基づいて実験を行う。	小島 悟 桜庭 聡
11～15	データ解析およびその解釈	実験データを解析し、その解釈を行う。	小島 悟 桜庭 聡

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート100%

【教科書】

使用しない

【参考書】

授業の中で適宜紹介する。

【備考】

指定された文献を予め読んで理解しておくこと（80分）。

授業時に紹介された関連文献を読んで学習を深めること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、高度専門職業人としてリハビリテーション科学の実践に寄与できる優れた知識・技術と研究能力の基礎を修得するというリハビリテーション科学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

小島 悟（理学療法士） 桜庭 聡（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での臨床経験を活かし、リハビリテーション領域における身体運動・動作の解析方法について演習を行う。